学校番号	３２３

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	(学) Advanced English	2	3	OVER ALL4 英語総合問題集 (Z 会編集部)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本講座では、２年次の英語コミュニケーションⅡおよびStandard English を発展させ、高度な英文を読むことや書くことを中心に、聞くことや話すことも含めた総合的な能力向上をめざします。
特に、大学受験を意識し、問題演習を中心に授業をすすめていきます。演習量を増やすことで学力を着実に固め、自信を高めていきましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	(友達やほかの人の)身の回りで起こったことや経験したことなどを聞いて要点を理解することができる。 ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などの説明の概要を理解することができる。	簡単な英語で書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解することができる。 簡単なマニュアルや説明書などに書かれた内容に沿って順序を理解することができる。	興味・関心のある事柄について、(自分がリードする形で)会話を続けることができる。 身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報を交換することができる。	自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、既習の語句や表現を使い、順序だてて話を広げながら、ある程度詳しく語ることができる。 事前に準備したメモの助けがあれば、身近な話題や興味・関心のある事柄について話すことができる。	学校や地域など、かかわりのある環境について、使い慣れた語句や表現を用いて、ある程度まとまりのある形で描写することができる。 使い慣れた語句や表現を用いて、作業や対応の順序などを示す説明文を筋道立てて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技術を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Unit1 （文型） Unit2 （時制） Unit3 （助動詞）	聞くこと	a:学習項目の語彙･文法を含む短文を音として聞き取ることができる。 b:学習項目を含む短文を聞き取り、要旨を捉え説明することができる。 c:学習項目を含む英文を聞き、内容を咀嚼し意見等を述べることができる。	演習問題 実技小テスト
		読むこと	a: 学習項目の語彙・文法を十分理解している。 b: 学習項目を含む英長文を和訳したり、要旨を説明したりできる。 c:学習項目を含む英長文を読み、内容を咀嚼し意見等を述べることができる。	演習問題 定期考査
		話すこと	a: 学習項目の語彙・文法を用いて英語で話すことができる。 b:学習項目以外の語彙・文法も交え、まとまった量の英語を話すことができる。 c:習得した語彙・文法を用い、自分の考えを盛り込み対話することができる。	実技小テスト
		書くこと	a: 学習項目の語彙・文法を十分理解し、英語で書くことができる。 b: 学習項目の語彙・文法を含む高度な和文を英訳することができる。 c:習得した知識を用い、所与の条件の下で自分の考えを英語で書くことができる。	演習問題 定期考査
	中間考査			
	Unit4 （受動態） Unit5 （不定詞） Unit6 （動名詞）	聞くこと	a:学習項目の語彙･文法を含む短文を音として聞き取ることができる。 b:学習項目を含む短文を聞き取り、要旨を捉え説明することができる。 c:学習項目を含む英文を聞き、内容を咀嚼し意見等を述べることができる。	演習問題 実技小テスト
		読むこと	a: 学習項目の語彙・文法を十分理解している。 b: 学習項目を含む英長文を和訳したり、要旨を説明したりできる。 c:学習項目を含む英長文を読み、内容を咀嚼し意見等を述べることができる。	演習問題 定期考査
		話すこと	a: 学習項目の語彙・文法を用いて英語で話すことができる。 b:学習項目以外の語彙・文法も交え、まとまった量の英語を話すことができる。 c:習得した語彙・文法を用い、自分の考えを盛り込み対話することができる。	実技小テスト
		書くこと	a: 学習項目の語彙・文法を十分理解し、英語で書くことができる。 b: 学習項目の語彙・文法を含む高度な和文を英訳することができる。 c:習得した知識を用い、所与の条件の下で自分の考えを英語で書くことができる。	演習問題 定期考査
	期末考査			
2学期	Unit7 (不定詞/動名詞) Unit8 （分詞） Unit9 （比較）	聞くこと	a:学習項目の語彙･文法を含む短文を音として聞き取ることができる。 b:学習項目を含む短文を聞き取り、要旨を捉え説明することができる。 c:学習項目を含む英文を聞き、内容を咀嚼し意見等を述べることができる。	演習問題 実技小テスト
		読むこと	a: 学習項目の語彙・文法を十分理解している。 b: 学習項目を含む英長文を和訳したり、要旨を説明したりできる。 c:学習項目を含む英長文を読み、内容を咀嚼し意見等を述べることができる。	演習問題 定期考査
		話すこと	a: 学習項目の語彙・文法を用いて英語で話すことができる。 b:学習項目以外の語彙・文法も交え、まとまった量の英語を話すことができる。 c:習得した語彙・文法を用い、自分の考えを盛り込み対話することができる。	実技小テスト
		書くこと	a: 学習項目の語彙・文法を十分理解し、英語で書くことができる。 b: 学習項目の語彙・文法を含む高度な和文を英訳することができる。 c:習得した知識を用い、所与の条件の下で自分の考えを英語で書くことができる。	演習問題 定期考査
	中間考査			
	Unit10 (名詞･代名詞等) Unit11 （関係詞） Unit12 （仮定法） Unit13 （接続詞）	聞くこと	a:学習項目の語彙･文法を含む短文を音として聞き取ることができる。 b:学習項目を含む短文を聞き取り、要旨を捉え説明することができる。 c:学習項目を含む英文を聞き、内容を咀嚼し意見等を述べることができる。	演習問題 実技小テスト
		読むこと	a: 学習項目の語彙・文法を十分理解している。 b: 学習項目を含む英長文を和訳したり、要旨を説明したりできる。 c:学習項目を含む英長文を読み、内容を咀嚼し意見等を述べることができる。	演習問題 定期考査
		話すこと	a: 学習項目の語彙・文法を用いて英語で話すことができる。 b:学習項目以外の語彙・文法も交え、まとまった量の英語を話すことができる。 c:習得した語彙・文法を用い、自分の考えを盛り込み対話することができる。	実技小テスト
		書くこと	a: 学習項目の語彙・文法を十分理解し、英語で書くことができる。 b: 学習項目の語彙・文法を含む高度な和文を英訳することができる。 c:習得した知識を用い、所与の条件の下で自分の考えを英語で書くことができる。	演習問題 定期考査
	期末考査			
3学期	Unit14 （様々な文）	聞くこと	a:学習項目の語彙･文法を含む短文を音として聞き取ることができる。 b:学習項目を含む短文を聞き取り、要旨を捉え説明することができる。 c:学習項目を含む英文を聞き、内容を咀嚼し意見等を述べることができる。	演習問題 実技小テスト

	Unit15 (様々な構文)	読むこと	a: 学習項目の語彙・文法を十分理解している。 b: 学習項目を含む英長文を和訳したり、要旨を説明したりできる。 c:学習項目を含む英長文を読み、内容を咀嚼し意見等を述べることができる。	演習問題
		話すこと	a: 学習項目の語彙・文法を用いて英語で話すことができる。 b:学習項目以外の語彙・文法も交え、まとまった量の英語を話すことができる。 c:習得した語彙・文法を用い、自分の考えを盛り込み対話することができる。	実技小テスト
		書くこと	a: 学習項目の語彙・文法を十分理解し、英語で書くことができる。 b: 学習項目の語彙・文法を含む高度な和文を英訳することができる。 c:習得した知識を用い、所与の条件の下で自分の考えを英語で書くことができる。	演習問題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度